

# 議会だより



第104号

平成31.4.1

■発行 奈良県宇陀郡御杖村議会

■編集 議会広報委員会 ☎0745-95-2001(代表)

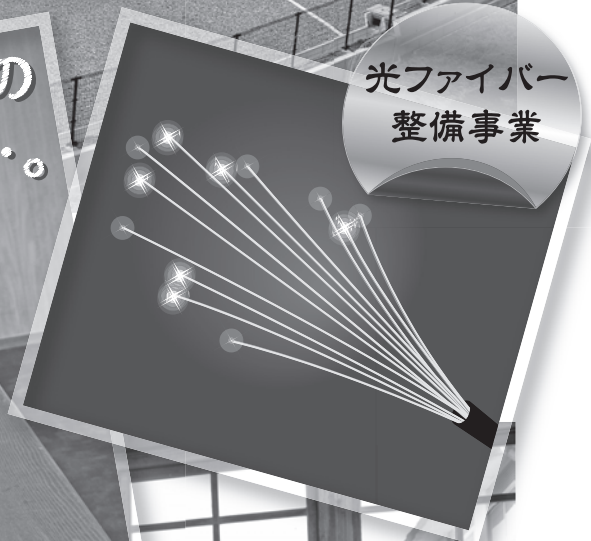
■URL <http://www.vill.mitsue.nara.jp>

移住定住  
対策事業



子どもたちの眼差しの  
向こうには…。

光ファイバー  
整備事業



…主な内容…

- ・ 3月定例会議案
- ・ 一般質問(2名)
- ・ 委員会  
 全員協議会
- ・ 活動報告

地域資源  
活用事業



# 3月定例会

3月議会定例会は、3月6日に招集され、会期を3月20日までの15日間とし、3月20日に続会議を行い閉会しました。会期中には、予算決算委員会や全員協議会も開催され、議員発議2件、条例制定・改正7件、平成30年度補正予算案3件、平成31年度予算5件、人事1件、その他契約案件等3件を審議し、すべて原案どおり承認・可決しました。

また一般質問には2名が当面する村の課題について答弁を求めました。



◎御杖村議会委員会条例の全部を改正する条例

◆改正内容  
常任委員会を再編し、むらづくり委員会と予算決算委員会の

2委員会とし、各委員会の定数を議員全員とする。議会運営委員会の定数を4名から議長を除く7名へと改正する。

◎御杖村議会傍聴規則の一部を改正する議会規則

◆改正内容  
議会を傍聴する際に、傍聴希望者が氏名等を記入しなければならぬ用紙について、個人情報保護の観点からその様式を一覧名簿から個票へと見直す。

# 村長提案



◆改正内容  
働き方改革に伴う、国家公務員の人事院規則の改正に準じ、職員の超過勤務時間の上限を新たに設定する。

◎特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

◆改正内容  
昨年11月末に発覚した元会計管理者による公金横領事案につき、任命及び管理監督責任を取るために村長の給料月額10分の1、4ヶ月間の減額を行うための改正を行う。

【可決(条例)】  
◎御杖村森林環境整備基金条例制定内容

平成31年度より国から譲与される森林環境譲与税について、未執行分の積立を行う基金を新たに設置するため必要な事項を制定する。

◎御杖村グローバル人材育成塾の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例

◆制定内容  
国際社会で活躍する人材の育成を目的に、村内の児童及び生徒を対象とした村営の英語・英会話塾の設置及び運営に必要な事項を定める。

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◆改正内容  
災害弔慰金の支給等に関する法律の海外出張のため、国家公務員等の旅費に関する法律の例により、海外出張による費用弁償について定めるための改正を行う。

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

◆改正内容  
災害弔慰金の支給に関する法

理事長 伊藤 収宜

指定の期間

平成31年 4月1日  
平成33年 3月31日

## 【議決(計画)】

◎御杖村過疎地域自立促進計画の変更について

◆変更内容  
平成30年度以降に予定している事業の、農業基盤整備事業中「県単基盤整備促進事業」の追加や水道施設の簡易水道事業中「簡易水道施設機器更新」について変更を行う。

◎御杖村国民健康保険条例の一部を改正する条例

◆改正内容  
国民健康保険被保険者及び村内保険医の減少にともない、運営協議会委員の定数を削減する改正を行う。

## 【可決(補正予算)】

◎平成30年度御杖村一般会計補正予算(第6号)

◆補正内容  
国の補助金交付額の減額に伴う事業費の見直し。

・補正額 △ 1億1450万5千円  
・総額 24億513万4千円

◎平成30年度御杖村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

除特別会計補正予算(第3号)

(事業勘定)

◆補正内容

県よりの診療所運営補助金の増額分を診療所勘定へ繰出す。

・補正額 123万8千円  
・総額 3億3753万4千円

◆補正内容  
診療施設勘定について、予算総額の増減は行わず、診療収入が減額した分一般会計からの繰入を増額し財源更正を行う。

◎平成30年度御杖村介護保険特別会計補正予算(第4号)

◆補正内容  
介護サービス給付費の増加による増額を行う。

・補正額 949万7千円  
・総額 3億9017万2千円

## 【可決(当初予算)】

平成31年度の予算総額は、一般会計22億1300万円・特別会計9億4948万2千円、合わせて31億6248万2千円となり、前年度より6931万5千円の減額となりました。

(村の広報みつえ4月号で予算概要が掲載されていますので、ここでは総額のみとします。)

◎平成31年度御杖村一般会計

・総額 22億1300万円

◎平成31年度御杖村簡易水道事業特別会計

・総額 1億1463万3千円

◎平成31年度国民健康保険特別会計

・総額 4億5152万4千円

◎平成31年度介護保険特別会計

・総額 3億4400万3千円

◎平成31年度後期高齢者医療特別会計

・総額 3932万2千円

◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

田中 政文 氏  
田中氏が候補者となることについて、適任であると決定。

# 一般質問

今かが聴きたい!!!

(一部要約)



ている東海・東南海・南海地震が発生した場合本村では震度7クラスに相当すると言われています。そのような地震に備えて、以上の点についてご提案させていただきますが村長のお考えをお聞きしたいのでよろしくお願います。

村長答



◆山岡議員

が、幸いにも人的被害がなかったことがなによりでした。今年も非常に暖かい日々が続いており、なにか異常さを感じさせるような毎日で、一年を通じて災害のないことを願うばかりですが、何時発生するか分からない地震や台風等の自然災害への備えが非常に重要であると考える質問させていただきます。

特に、停電時における情報伝達的手段としてLINEによる防災情報システムを構築していただき、2月号の広報紙と2019年改訂版防災マニュアルにも掲載されましたが、スマホだけの配信になるため、ガラケーにもメール配信できるようにしていただくことで情報伝達のカバー率が上がると考えます

質問  
防災・減災体制の整備について

昨年は、4つの台風が本村近辺を通過し勢力が強かった21号・24号台風により農業用ハウスや農地等の被害がありました

算で計上し、改訂版ができあがったことから、3月の配布物として全戸配布したところでございます。

また、2月広報誌に掲載をさせていただきました防災SNSは、有線放送を補完する目的で利用頻度、また登録が簡単なことからスマホ向けに整備をさせていただきました。緊急で知らせる避難準備情報等のエリアメールは、ガラケーまたはスマホ両方で受信が可能となっております。ガラケーの携帯電話が減少している現状をふまえ、その他の伝達方法を含め今後も検討してまいりたいと思います。

次に指定避難所についてですが、「災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設」と定義されております。

建物の管理者、地域性等を考慮して、学校や保育所、体育館、

ので改善できないでしょうか。

次に、本村は山間に集落が点在する地域でありますので、村内13箇所の避難場所について御杖村土砂災害ハザードマップを見ると、急傾斜地や土石流危険箇所があり比較的安全な施設としては敷津産地化センターと老人福祉センターの2箇所しかありません。そこで、厨房設備とトイレが備わって安全度の高い道の駅を、大規模災害における避難場所に追加指定できないでしょうか。また、外部からの来村者も避難場所が分かる避難場所マークの設置をすべきではないでしょうか。今後、地球温暖化に伴い益々大型化することが予想される台風や、30年以内に70%以上の確立で発生すると言われる

で、30年度につきましては、桃俣の体育館・公民館の耐震化がもう少して完了ということになっております。今後、避難所につきましては、そういうことも含めて安全に使えるようにやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。



◆山岡議員

質問  
ヘリポートの整備について

本村のように高齢化が進み、交通事情が悪く、大規模な総合病院に遠い地域にとって、平成

本村が取り組みます安全安心なむらづくりのためには、議員質問の防災・減災体制の整備は不可欠なものと思われま。特に、南海トラフ地震は、30年以内に7割から8割の確立で起きると専門家が指摘しております。こういった状況の下、本村も防災減災体制の整備を進めてまいります。平成30年度に初めて実施しました防災訓練もその一環であります。

ご指摘の「防災マニュアル」の改訂につきましては、本年度予定29年3月からのドクターヘリ導入は非常にありがたいことであると思います。しかし、本村のヘリポートは村民運動場・野外ホールの2箇所となっておりますが整備が遅れ、離着陸の際は砂埃が舞うような環境であり、上空から見るとヘリポートとは識別しにくいものとなっております。また、今年1月1日から紀伊半島三県のドクターヘリ応援協定が結ばされ、和歌山県のドクターヘリは奈良県全域と三重県の尾鷲・熊野市地域を、奈良県のドクターヘリは和歌山県全域と三重県名張・伊賀・津市の一部旧美杉村・松阪市の一部旧飯南町・志摩半島以南の地域を。また三重県のドクターヘリは奈良市の一部旧都祁村・旧月ヶ瀬村・山添村・宇陀市・御杖村・曾爾村・東吉野村までカバーする協定になっており、本村には、他県からの応援ヘリの出動も考えられます。そこで、本村の住民の命を守っていただくドクターヘリの飛行を安全かつ円滑に運航でき

るようにヘリポートの整備を早急に進める必要があると考えます。

また、その運用については、村民への周知もお願いしたいと思います。以上について、村長のお考えをお聞きしたいと思います。



村長

答弁

以前の議会全員協議会において、ヘリポート整備のご意見を賜り、平成30年4月1日より、神末敷津地内フロンティアタウンのテニスコートが新たに運用を開始し、ご報告を申し上げたとおりでございます。現在本村のドクターヘリのヘリポートは、

先程のテニスコート、村民グラウンドの2箇所で開催を行っており、所在地が関係機関に登録されているため、ヘリコプターのGPS機能によりどこからでも飛来が可能となっております。また、奈良県広域消防組合通信司令センターが状況を判断しながら飛来地を決定しており、曾爾村のヘリポートも利用しております。ヘリポートの規格は、ヘリコプターの長さ13mに前後10mを加えた33m×33mの正方形の平地が必要となります。ヘリポートがグラウンドなどの土の場合、乾燥時消防署が事前に散水することとなっております。

本村の場合、年平均6件から8件ぐらい今まで運用がされており、ヘリポートの規格は、ヘリコプターの長さ13mに前後10mを加えた33m×33mの正方形の平地が必要となります。ヘリポートがグラウンドなどの土の場合、乾燥時消防署が事前に散水することとなっております。



葛城議員

質問 地域資源活用事業の今後の進めについて

ふるさと納税(ガバメントクラウドファンディング)を利用して、御杖村自慢の森林資源を活用し、タイに木造住宅を建設する事業についてお伺いしたいと思います。

御杖村は、昨年ふるさと納税サイト「ふるまる」において、クラウドファンディングを開設されています。目標額として

1,800万円、期間としては2018年10月23日から2019年3月31日までとされ、約4ヶ月間で21万8千円、10名の寄附が集まりました。さて、今後の計画についてお伺いしたいと思います。御杖村にモデルハウスを建設の予定と今後の活用方法。タイの研修生が既に来られています。3ヶ月間の研修を受けられると聞いています。どのような研修を受けられるのでしょうか。その研修期間中にタイの方々との交流などできるのでしょうか。そして、タイに木材をいつ輸出できるのか。

クラウドファンディングでは、21万8千円しか寄附が集まっていません。クラウドファンディングの期間延長はできるのか。この事業・活動全般について、全国、そして御杖村民にもこの計画を周知していただきたいと思いますが、村長のお考えをお伺いしたいと思います。

村長答弁

村としましても過疎化・高齢化が進行し、人口減少に歯止めがかからないなか、豊富な森林資源を有効に活用し、木材の良さを再度見直すきっかけを作り、村を活性化させる必要があると考えています。

そこで森林資源の有効活用策として、木製加工品の開発や、ケビン(小屋)の製作・販売、林業従事者の育成、そしてタイをターゲットとした木造住宅の海外販売などを検討・推進していくこととしました。

議員ご質問の件については、今後の海外戦略としてタイ向けの木造住宅の普及を目指し、本年度はタイ向けのモデルハウスを村内に建設し、製造工程の確認、設計指針や施工指針の策定を行うもので、大字神末敷津地内の村営住宅空き区画に建設することとし、本年2月下旬

旬より工事を開始したところで、

また、タイでの木造建築に関する人材育成として、タイスパーパトム大学の学生5名を、3月3日より受け入れ、建築教育や技能修習生としてこの建築現場等で研修を約3ヶ月間、実施することとしています。

議員おっしゃるとおり、このモデルハウスについてはクラウドファンディングを利用して建設資金を調達することとし、昨年10月より本年3月末までの期間、インターネットを利用して寄附金の募集を行っています。現時点において10名の方から21万8千円のご寄附をいただいておりますが、当然、この資金だけでは建築資金を賅えないことから、寄附金以外の資金を一般財源とする補正予算を本定例会に提案しているところです。

また、寄附募集期間の延長についてですが、新年度において期間を定めて再び寄附を募るという形は取れると考えますが、

返礼品やサイトに掲載する手数料など経費が必要となります。今回、再募集は考えていませんので、当然、当初予算でも計上していません。

次にモデル住宅の完成後に付いてですが、移住体験住宅として移住希望者に対して期間限定の貸出を行っていただければと考えています。御杖村への移住を考えている方が試行的に短期間滞在し、御杖村での生活体験をしてもらえたらと考えています。

今回インターネットを利用して、不特定多数の方へ寄附の募集を行いました。同時に、この募集サイトでは事業の趣旨、寄付金の使途を掲載し、周知を図ったところですが、今後の事業展開に併せ、報道機関へのプレスリリースを行っていきたくと考えています。

最後に、この事業の最終目的は海外へ御杖村の木材を使った木造住宅を普及させることです。防蟻対策などクリアしていかな



ければならない課題も多くあります。今後、これらの課題を解決しながら目的達成に努力していきたいと考えています。

## 議会運営委員会

【山崎・木村・古川・葛城】

(2月20日)

3月議会定例会の会期や、委員会等の日程について決定をしたのち、予定議案の概要説明をうけ、各議案の審議取扱いについて協議を行いました。

## 全員協議会

(2月20日)

【全議員】

3月定例会の日程確認をしたのち、行政より昨年発覚の不適切会計処理にかかる今後の対応、また村の今後の計画について説明を受け協議を行いました。その後、本村議会に対して提出される陳情等の取扱い方針について協議し決定しました。

(3月7日)

3月6日の定例会開会日に、継続審議案件となった条例1件と委員会付託となった補正予算3件及び31年度予算5件について、各担当課長よりその内容について、詳細な説明を受けました。

## 予算決算委員会

【松岡委員長・全議員】

3月6日の本会議において付託された予算関係議案について、3月12日に予算決算委員会を開催し、内容について審査を行いました。本委員会は、補正予算3会計及び平成31年度当初予算5会計について、全て原案どおり可決すべきものと決定し、20日の本会議において報告することとなりました。

## 御杖小学校6年生が本会議を傍聴！

3月6日の議会開会日に、御杖小学校の6年生4名と担任の先生が社会の授業の一環として傍聴に来てくれました。

議会進行の様子を真剣な眼差しで見つめる子どもたちの姿に、審議を行う議員にもその緊張感が伝わり審議に一層、熱が入ったものとなりました。



## ～活動報告～

2月

- 18日 宇陀衛生一部事務組合議会(山岡・吉田)
- 19日 例月出納検査(山崎)  
正副議長打合会(盛岡・山岡)
- 20日 議会運営委員会(山崎・木村・古川・葛城)  
全員協議会(全議員)  
広報委員会(盛岡・葛城)  
東宇陀環境衛生組合議会(山崎・松岡・古川)
- 25日 正副議長打合会(盛岡・山岡)  
御杖ふるさと交流公社理事会(山崎・吉田)
- 27日 国保運営協議会(盛岡・木村・松岡)

3月

- 1日 介護保険運営協議会(木村)
- 3日 消防ポンプ自動車引渡式(盛岡)
- 4日 空家対策協議会(山岡)  
正副議長打合会(盛岡・山岡)
- 5日 曾爾御杖行政一部事務組合議会(盛岡・木村・葛城)
- 6日 3月定例会 開会(全議員)
- 7日 全員協議会(全議員)
- 11日 正副議長打合会(盛岡・山岡)
- 12日 予算決算委員会(全議員)
- 13日 町村議会議長会定期総会(盛岡)
- 15日 中学校卒業式(盛岡)
- 18日 例月出納検査(山崎)  
正副議長打合会(盛岡・山岡)  
戦没者追悼式(全議員)
- 19日 小学校卒業式(盛岡)
- 20日 3月定例会 続会(全議員)  
社会福祉協議会理事会(盛岡・山崎)